

## 外来・入院における診療効率と医学教育の技術向上に関する研究

今回、京都府立医科大学では外来・入院における診療効率と医学教育の技術向上に関する研究を実施いたします。そのため、当院の総合診療科と消化器内科で外来診療や入院診療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼり調査させていただきます。診断や治療方法などの詳細については調査いたしません。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

### 研究の目的

病院における医学生や研修医・専攻医に対する教育には高額なコストがかかり、授業料や運営費交付金では大きな不足が起こります。京都府立医科大学の場合、経常収益の最多のものは附属病院収益で67%に上っていて、医学教育にかかるコストを補填している状況にあります。附属病院収益のなかで、外来・入院収益は大きくその比率は3:4ともいわれています。診療上の効率性の追求が常に求められますが、医学教育を行うことで診療上の処理能力が低下して外来・入院収益が損なわることは断じて避けなければなりません。すなわち、大学病院では、病院収益を落とすことなく、医学教育を施すことが求められます。しかし、医学教育と外来・入院における診療効率との関係を検討する研究は今までほとんどなされてきませんでした。

本研究では、外来・入院における診療効率と医学教育に関する関係性を明らかにすることを目的とします。またそれらの関係性を検討することで、診療効率を維持したうえで必要十分な医学教育を実施するための技術を向上させることにつながることが期待されます。

### 研究の方法

#### ・対象となる方について

2008年1月1日から2022年11月30日までに当院の総合診療科と消化器内科で外来診療や入院診療を受けた方を対象としております。

#### ・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から2025年11月28日まで

・方法：当院総合診療科と消化器内科で外来・入院診療を受けた方について診療録・支払い端末・入院包括支払い解析端末より以下の臨床情報を収集いたします。

・研究に用いる情報について

- ◇どのような医療者が診療を担当したか
- ◇学生や研修医がカルテ記載をしたか
- ◇医療者のカルテ記載状況
- ◇診療された日時
- ◇保険情報・保険点数
- ◇負担金・患者請求額
- ◇他の医療機関から紹介されたか
- ◇他の医療機関に紹介したか
- ◇疾病コード名・包括支払いコード名

直接患者御本人への調査票、質問票などを用いた新たな調査は行いません。得られたデータは個人を特定されないよう匿名化して総合的な検証が行われます。

・個人情報の取り扱いについて

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定される情報を使用することはありません。

情報の保存および二次利用について

カルテなどから抽出した情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学消化器内科において講師 十亀義生の下、10年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な試料や情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な試料・情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

(実施責任者)

消化器内科学

講師

十亀 義生

(実施担当者)	消化器内科学	客員講師	阪上 順一
	消化器内科学	客員講師	保田 宏明
	消化器内科学	助教	三宅 隼人

## お問い合わせ先

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、2023年11月30日までに下記連絡先までご連絡ください。ご本人様だけでなく代理人の方の申し出でも対応させていただきます。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。研究期間中（2023年11月30日まで）はいつでも不利益を被ることなく研究参加を拒否することができます。ただし、研究参加拒否の申し出があった時点で既に研究結果が論文などで公表されていた場合などのように、検査結果を廃棄することができない場合があります。ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

京都府立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学

職・氏名： 講師・十亀 義生（そがめ よしお）

電話：075-251-

5519